

バイテックスエキス

VITEX AGNUS EXTRACT

月経前症候群とは バイテックスとは 成分 臨床研究 バイオアクティブズのバイテックス 製品規格

●月経前症候群とは

月経前症候群(PMS)は、月経前にいらいらしたり、緊張・心配・うつなどを起こす精神的な症状、および頭痛・おりもの・乳房の痛み・体重増加などの身体的な症状を指します。月経前症候群の原因は、明確になっていませんが、ホルモンの変化、神経伝達物質、食事、薬およびライフスタイルの結果と考えられており、対処は困難とされています。



●バイテックスとは



バイテックス(*Vitex agnus-castus*)はクマツツラ科ハマゴウ属の落葉性の植物でセイヨウニンジンボク、チェストツリーやチェストベリーなどとも呼ばれ、高さは5m位になることもあり、地中海から中央アジア地域の川堤に広範囲に分布します。

バイテックスは、ギリシア人やローマ人に2,000年以上ハーブ療法で使われてきた伝統的な植物です。たとえば、修道女がこの果実を食したり、スパイスとして使用し、性欲抑止し貞操を保持していました。また婦人系のさまざまな

問題に対しても効果が確認されています。欧米ではバイテックスは一般的に使用され、特にドイツでは現在、婦人病の薬として承認されており、患者に頻繁に処方されています。

●バイテックスの成分

バイテックスの果実はイリドイドやフラボノイド化合物を含有しており、また、葉や花には性ホルモンに似た構造のフラボノイド類やいくつかの化合物が同定されています^{1) 2)}。どの成分も1%以下ですが、その中でイリドイド配糖体であるアグニサイドはバイテックスに特徴的な成分なので規格成分として使用されています。

●臨床研究

月経前症候群の乳房痛およびプロラクチン増加の治療に、バイテックスが有効であると科学的に証明されています。バイテックスは、ドーパミン作用性の化合物が乳房痛などの月経前症候群を抑える効果があると考えられています²⁾。バイテックス抽出物が視床下部と脳下垂体前方のドーパミン受容体(D2)に結合することにより、プロラクチンの放出を抑制し、その結果、乳房痛を軽減するのです。他の内分泌腺効果としてプロゲステロン分泌を増加させます³⁾。また別の研究でバイテックスが不妊治療に効果を示すというものがあります。

いくつかの臨床試験でバイテックスが月経前症候群の症状の改善に有効であることが立証されています。

その一つは、ドイツで平均年齢36歳の女性170人(86人がバイテックス、84人がプラセボ)を対象に行われた試験です。月経前の短気・怒りなどの気分変化、頭痛・胸のほりや他の兆候を自己評価してもらいました。プラセボと比べてバイテックス投与群はかなりの改善が見られました。半数以上の方が、改善効果があったと評価し、これらの効果は患者側および後の医師の診断双方で確認されました⁴⁾。

また、1634人のPMSに苦しむ患者について、プラセボなしで行われたドイツの研究では3月経周期の間に93%の患者がバイテックスがPMSに効果があるとしました。94%の患者はバイテックスの処方非常に効果があるまたは効果があると評価しました。医師によって1%の患者には副作用が疑われましたが、特に重大なものではありませんでした。したがって、バイテックスのリスクに対する効果は非常に良いランクと言えます⁵⁾。

●バイオアクティブズジャパンのバイテックスエキス

バイオアクティブズジャパン社はインド産のバイテックスの果実から0.5%のアグニサイドを規格化したエキスをインドのグループ工場にて製造し供給しています。

参考文献

- 1) Wuttke (1996) *Forschende Komplementarmedizin* 3:329-330
- 2) Wuttke et al.(2003) *Phytomedicine* 10(4):348-357
- 3) Du Mee (1993) *Australina Journal of Medical Herbalism* 5:63-65
- 4) Schellenberg (2001) *BMJ Clinical Research* 322(7279): 134-137
- 5) Deutsche Klinik für Diagnostik (2000) *Journal of Womens health and Gender based medicine* 9(3): 315-320

●製品規格

外観・性状	: 黄色がかった茶色～茶色の粉末
溶解性	: 熱水に75.0%以上溶解
乾燥減量	: 6.0% 以下
重金属	: 20 ppm以下
ヒ素 (As)	: 1.00 ppm以下
鉛 (Pb)	: 10.0 ppm以下
アグニサイド含量	: 0.5%以上 (HPLC)
微生物試験	: 食品衛生法基準に準拠
梱包	: 1kgまたは10kg
推奨使用量	: 50mg/日



BIO ACTIVES JAPAN CORPORATION
バイオ アクティブズ ジャパン株式会社

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20-9F

TEL 03-5981-0601 FAX 03-5981-0602

E-mail: info@bioactivesjapan.com <http://www.bioactives.co.jp/>